

## 大井川 赤石沢

2016年8月16日(火)～18日(木)

メンバー:磯部S、佐藤Y、池田T(記)

---

私と磯部さんにとっては2014年に続く赤石沢へのチャレンジ。前回は水量が多くて入渓を断念したが、今回は少なめの水量と天気にも恵まれて遡行することが出来た。この2つに恵まれることが成功の必須条件である。さらにメンバーはクライミングと沢の経験を十分持っている必要がある。それらが揃えば大きくて美しい淵、巨岩の間を流れ落ちる滝、スリリングな高巻きを堪能することが出来る。

### 8/15(水) 前夜

台風7号の影響で一時は計画を諦めかけたが、直近の予報では当初よりも東にそれるとのこと。南アルプスの天気予報は16～17日は概ね晴れ。これなら遡行出来そうだと期待を持って浜松を出発した。ただ、大気の状態が不安定なようで、静岡県西部は局地的に大雨。途中では雨が降っていない町もあったが井川は大雨だった。大無限山の登山口である「てしまんくの里」の駐車場で若干の不安を覚えつつ車中仮眠した。

### 8/16(火) 晴れ

昨夜の雨はやんで青空が広がってきた。最新の天気予報も悪くない。畑薙ダム手前の夏山臨時駐車場に移動して特殊東海フォレストの送迎バスに乗る。榎島手前の牛首峠で降りて赤石沢の水量を見ると水量は多くはない。予定通り遡行することを最終決定し、万々に備えて持ってきたサブ計画用(箆ヶ岳)のテントを電柱の陰にデポした。階段とハシゴを使って沢に降り立ち、遡行を開始する。

まずはイワナ淵、そして二エ淵へと入っていく。何十mも泳ぐことは無かったが、落ち口の岩に取り付けず、何回かチャレンジして体力を消耗した淵はあった。さすがはアルプスの沢、水温が低いので長時間浸かっていると体が冷えてしまう。天気が良くてお日様にあたる事が出来たことは本当にありがたかった。泳ぎ自体は鈴鹿の元越谷や神崎川で慣れることが出来ていたと思う。取水ダムにたどり着いて第一関門突破ということでホッとする。

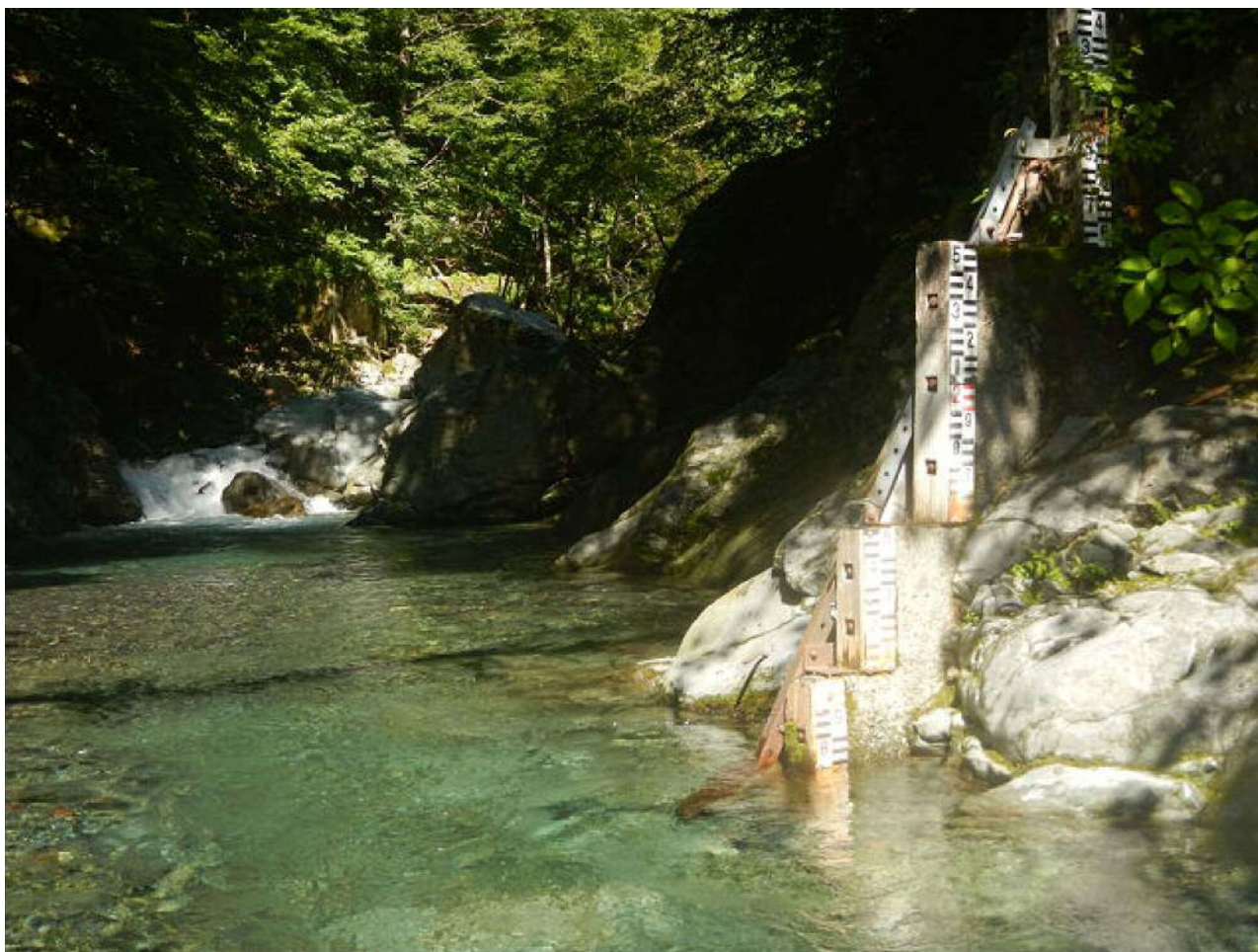
次の関門は「門の滝」だ。ここは右岸から高巻く。踏み跡はなんとなくついている。とは言え、途中で30mロープを2回ほど出した。1時間以上かけて高巻き完了。その次の関門は「洞穴」である。セオリー通り、洞穴の中にぶら下がっているシュリングを使って空身で登る。出口は狭いので空身であっても通り抜けるのに少し苦労した。ザックを背負ったままではとても通れない。ザックは岩の外側からロープで引き上げた。

ねじれ沢出合の少し手前の右岸に幕営適地があって、テントが一張りあった。(男性二人組)。もう一張り分のスペースはあったが、我々はもう少し進んで出合いから数十m進んだ右岸にタープを張った。焚火にあたりながら飲む酒は最高だった。これぞ泊まりの沢山行の醍醐味だ。

<タイム> 夏山臨時駐車場7:30＝牛首峠8:30～8:55－取水ダム14:20－北沢出合14:47  
－門の滝15:30～16:45－ねじれ沢出合18:05－幕営地18:30

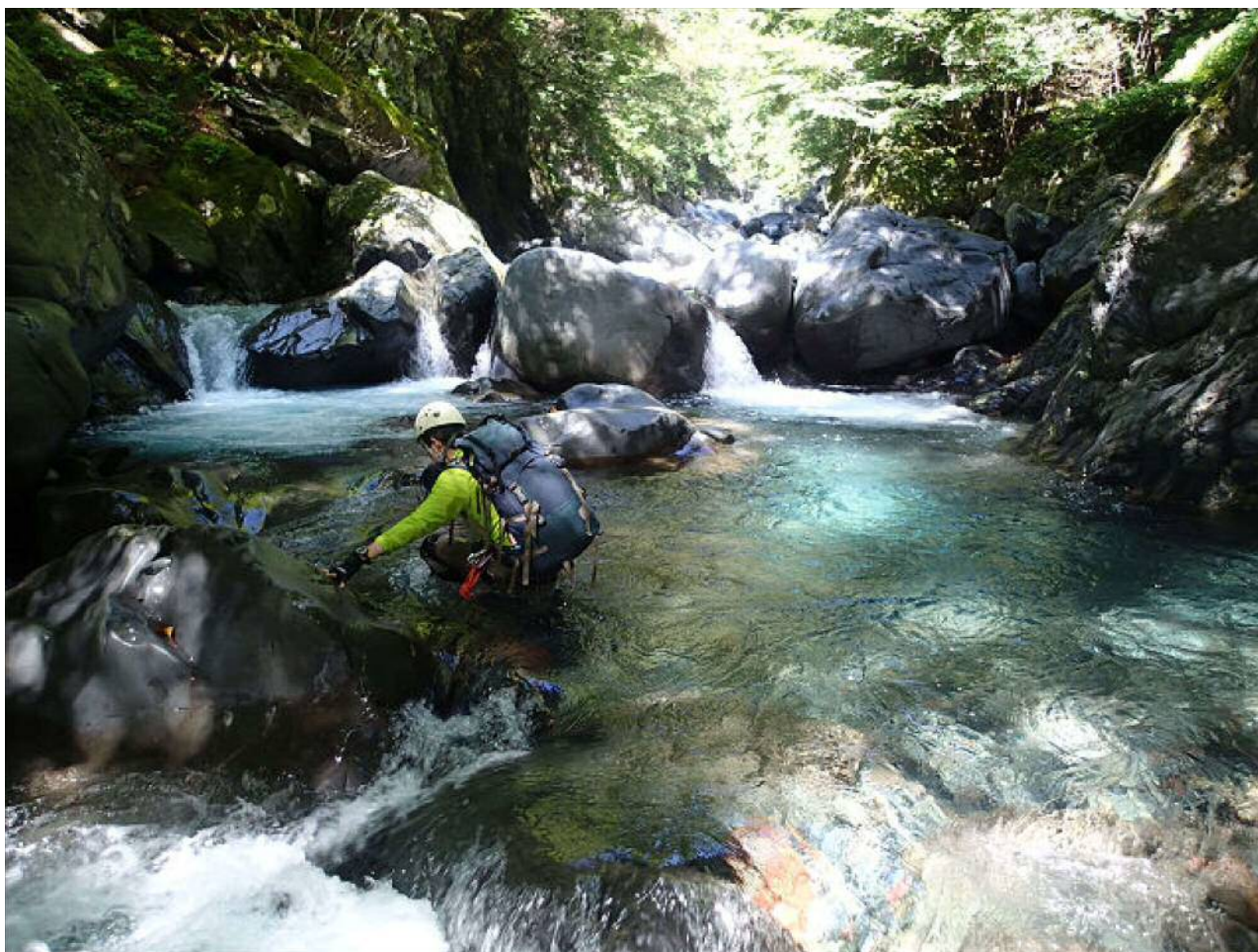


入溪直後。おだやかな流れ



水深70cm。普段を知らないが、やや少なめか？





天気が良いので沢の美しさが映える

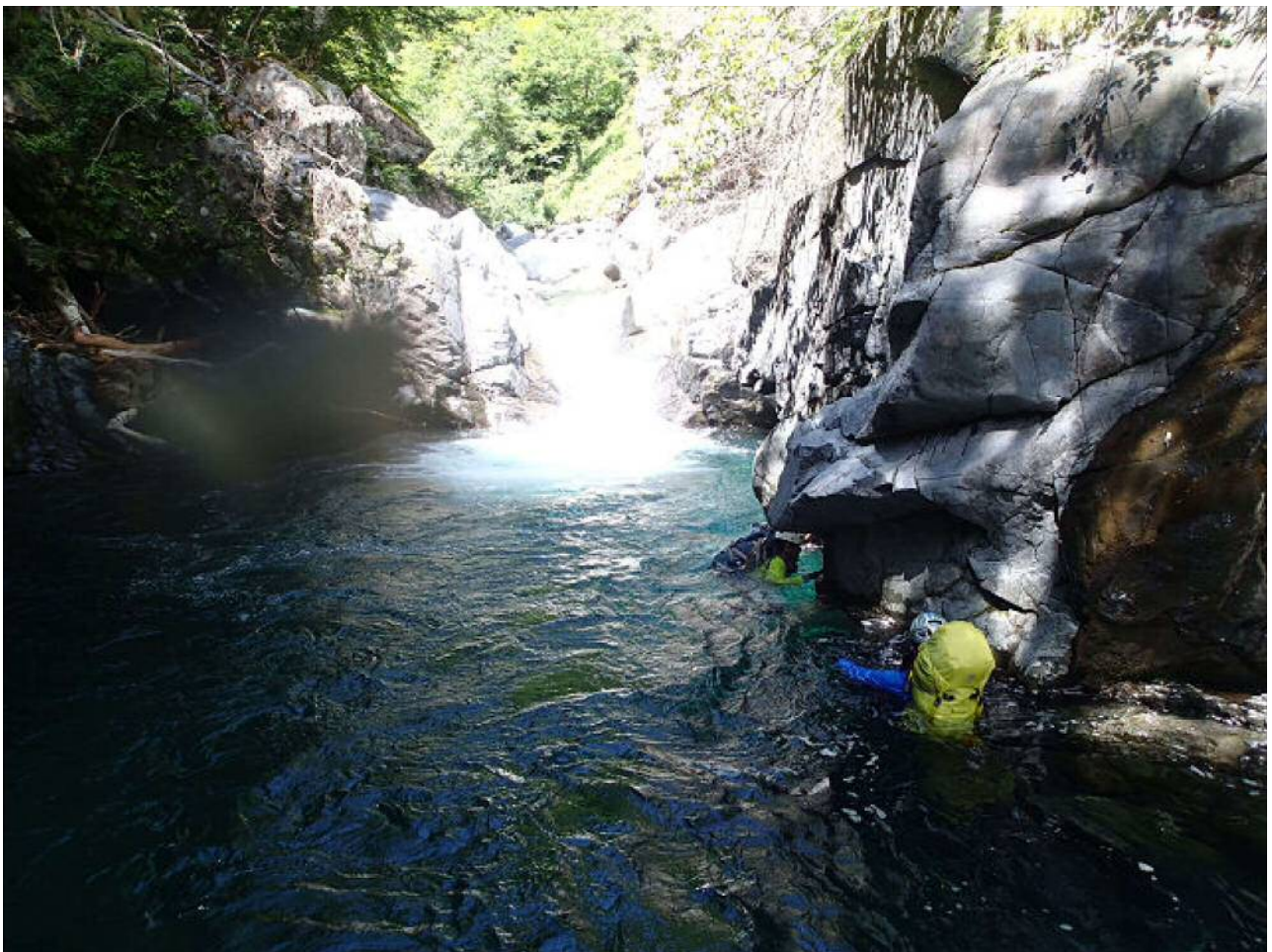


流れを突破する佐藤と倒木を利用する磯部





次々と現れる淵を突破する



ここは滝の落ち口から少し戻った所から登って越えた



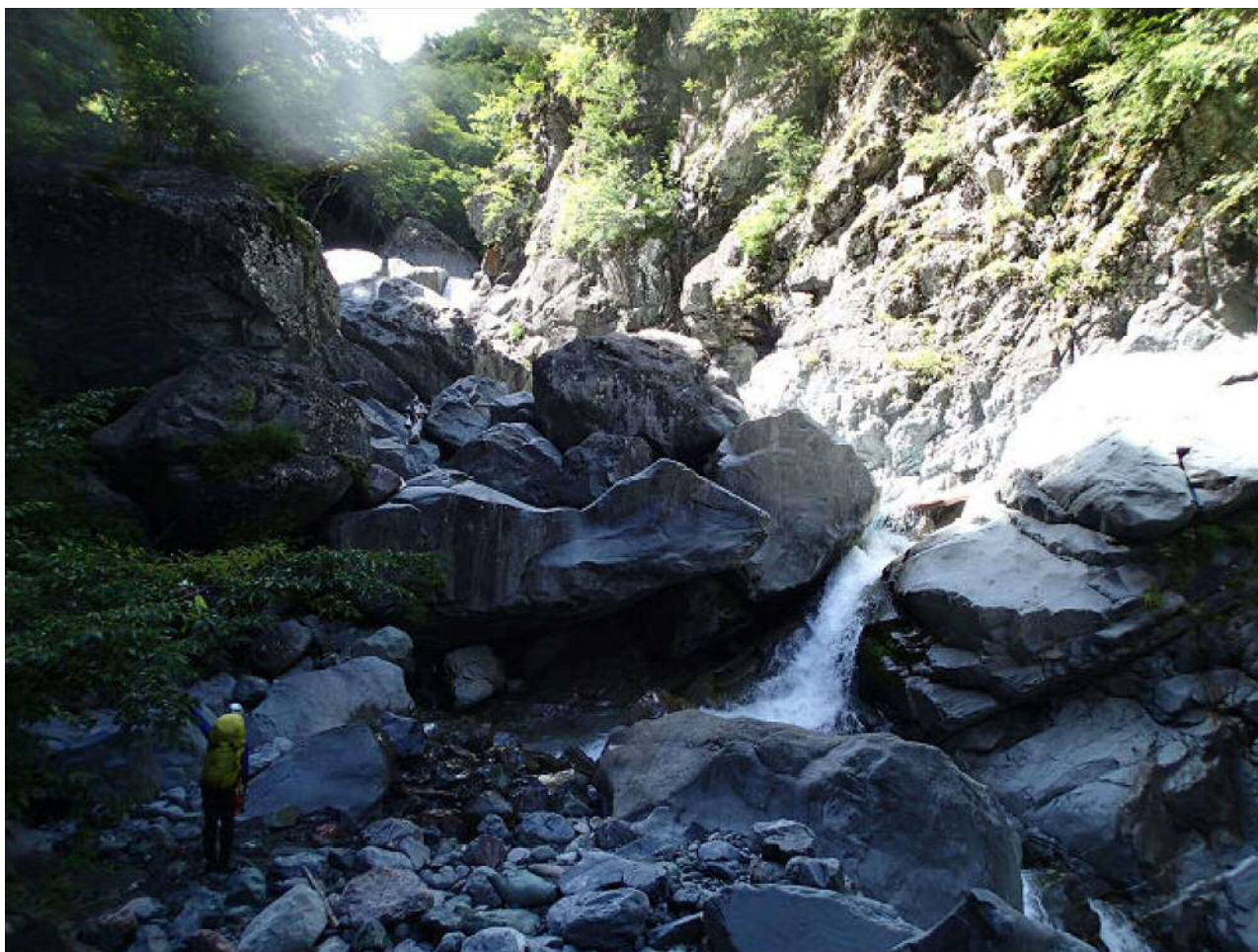


大迫力の滝に圧倒される



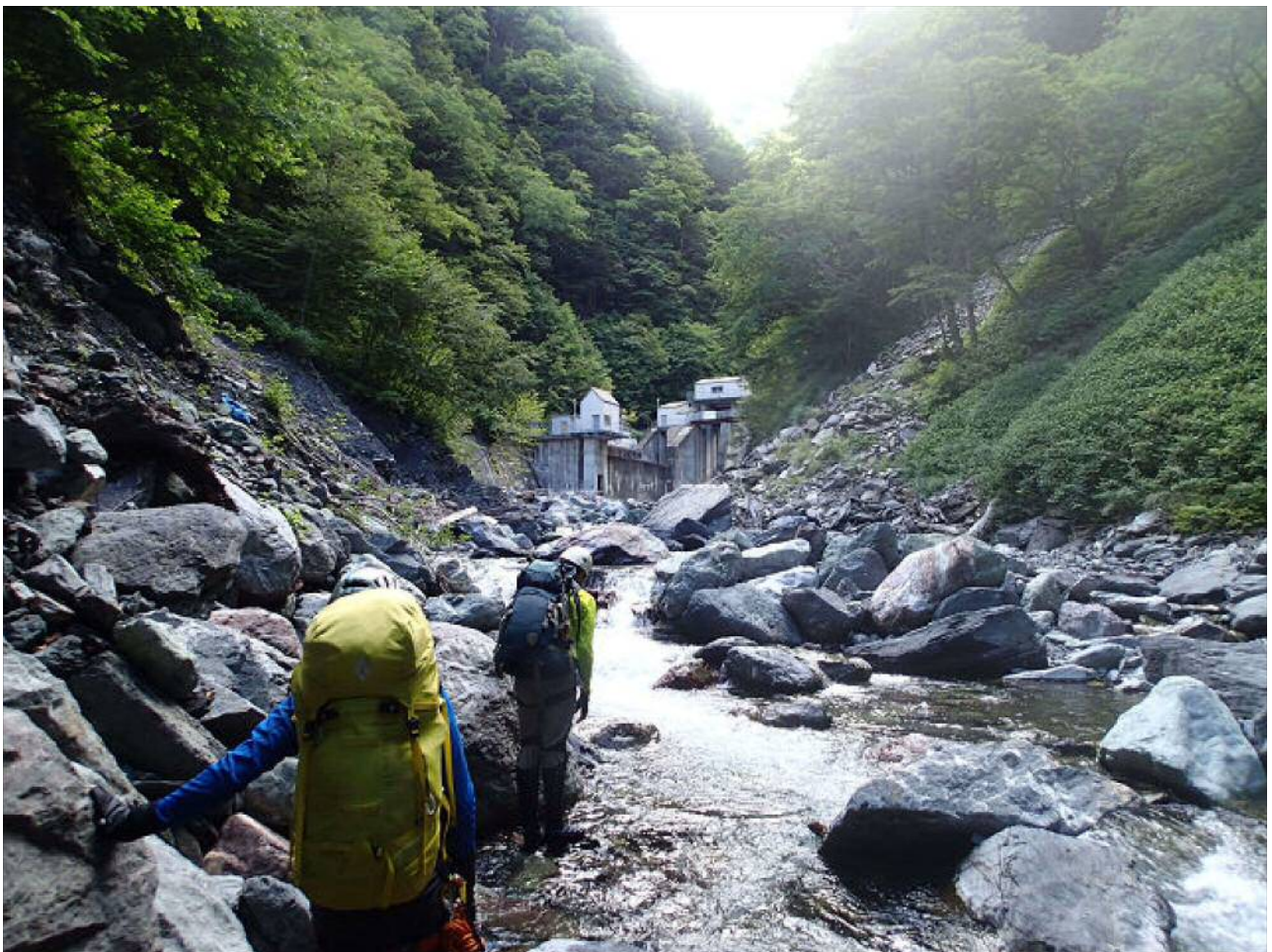


淵を泳いで岩に取り付いて登る

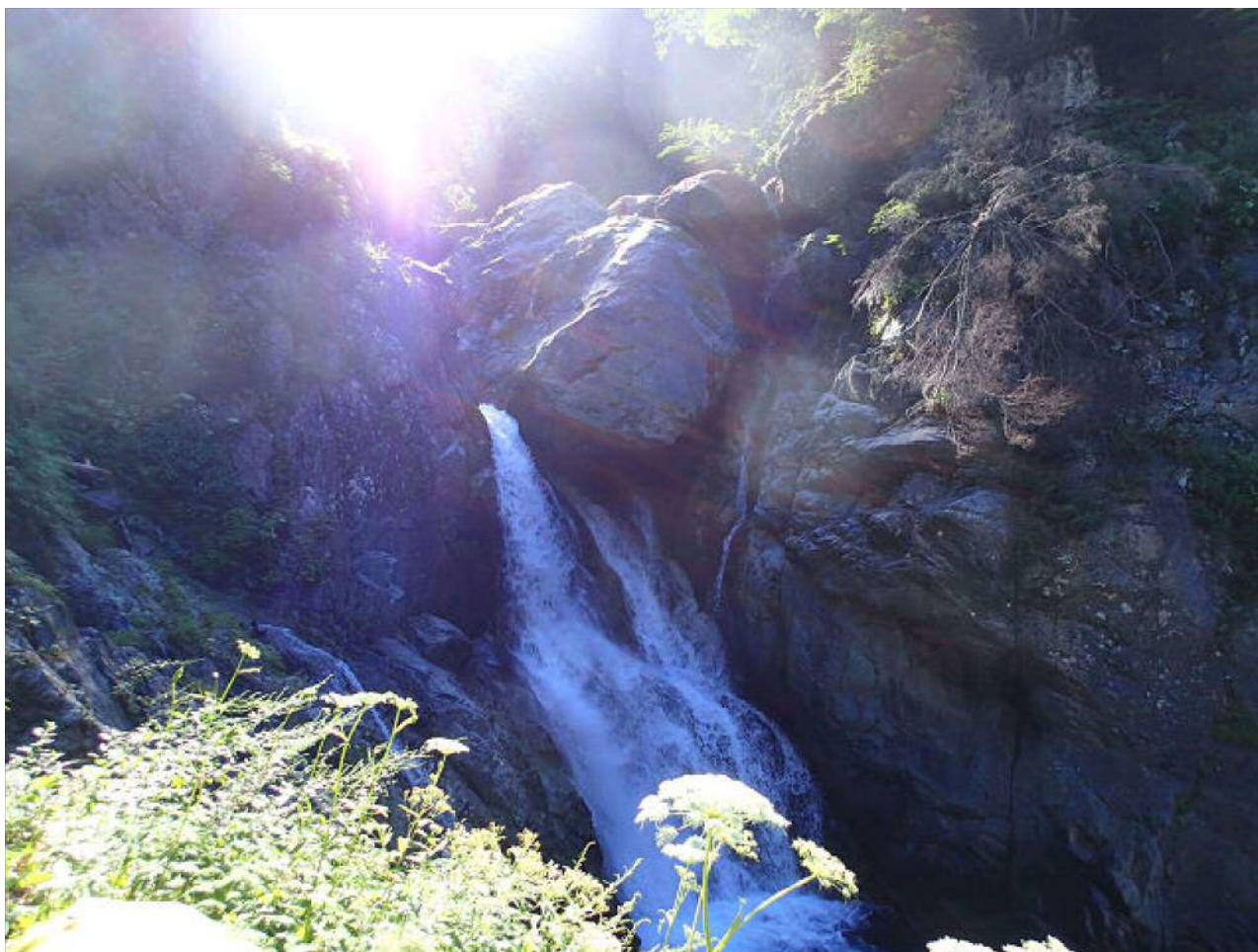


巨岩がゴロゴロ。スケールに圧倒される





やっと取水ダムが見えてきた



門の滝





高巻き序盤の草付き壁登り。ここはロープを出した



初日を終わてくつろぎのひと時

8/17(水) 晴れ

幕営地を出発して30分ほどで今日の核心である大ゴルジュの入口に至った。ゴルジュの正面突破はいかにも無理。予定通りシシボネ沢の横の草付きルンゼを登って高巻きを開始する。

自分がロープをつけてトップで登り始める。1ピッチ登った後はトラバースになるが、中々怖い。高巻きルート全般で概ね踏み跡はあるが、分岐があったり行き詰る箇所もあったりして、1回だけ5mほど懸垂下降した。そこからルンゼを少し登り返すと明瞭な水平トラバース道があって、やがて沢に降りることが出来た。結局、高巻き完了まで約2時間要した。

大ゴルジュを通過してだいぶ気が楽になる。その先も淵はあったが、泳ぐことは無かった。奥赤石沢との出会いを過ぎていよいよ百間洞に入る。時間に余裕があると判断して釣竿を出した。川虫(オニチヨロ)を捕まえて淵に垂らすと数秒後に反応があった。竿を上げると橙色の模様が目立つ魚が飛び出して来た。20cmを超えるイワナであった。磯部さんもすぐに一匹釣り上げた。今まで通過した淵でもイワナの姿は時々見ていたが、やはり多い。淵という淵にイワナは棲んでいるようだ。その後も食いついたが逃げられてしまったのが2回ほどあった。佐藤さんも磯部さんに竿を借りて一匹ゲット。全部で3匹確保した後、遡行を再開した。

引き続き百間洞を遡行していく。やがて百間洞大滝に至った。この滝の高巻きが意外に手ごわかった。



ほぼ垂直の岩登りから一枚岩の微妙なトラバースとロープを2ピッチ出した。最初の見立てよりも大きく高巻いた。

この後は穏やかな沢歩き。やがて百間洞山の家に到着した。

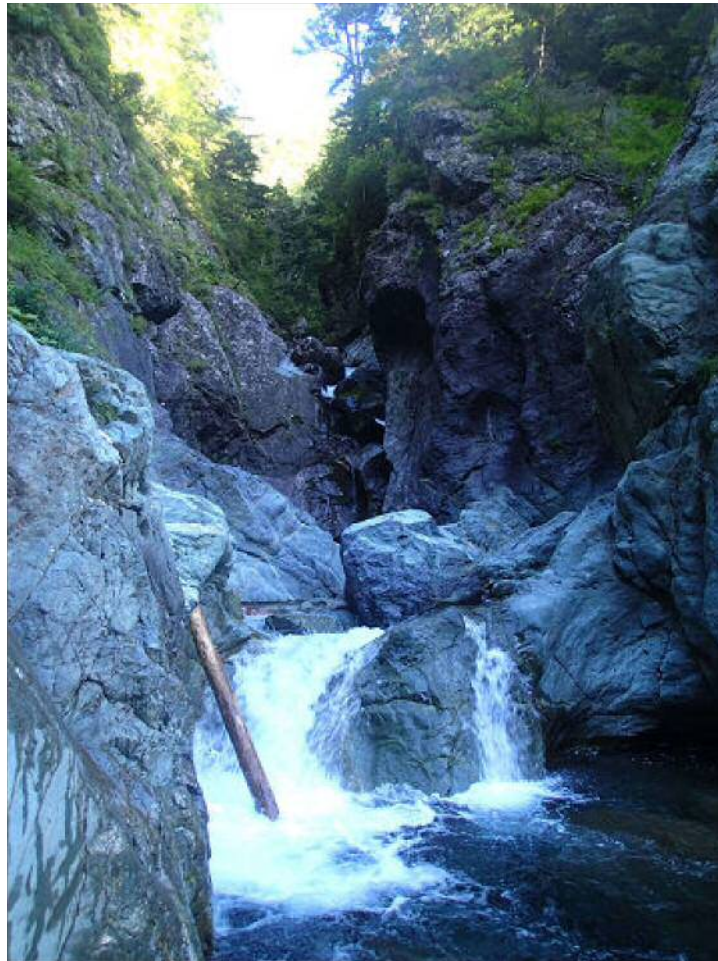
釣ったイワナは焚火で焼きたいところだが、ここでは無理なのでフライパンで焼いて食べた。それでも中々美味しかった。

小屋の宿泊者は定員の半分ぐらいだったろうか。ゆったりと眠ることが出来た。

<タイム> 幕営地5:45 – 大ゴルジュ16:23～8:20 – 奥赤石沢出合12:00 – 百間洞大滝15:13～16:00 – 百間洞山の家17:35

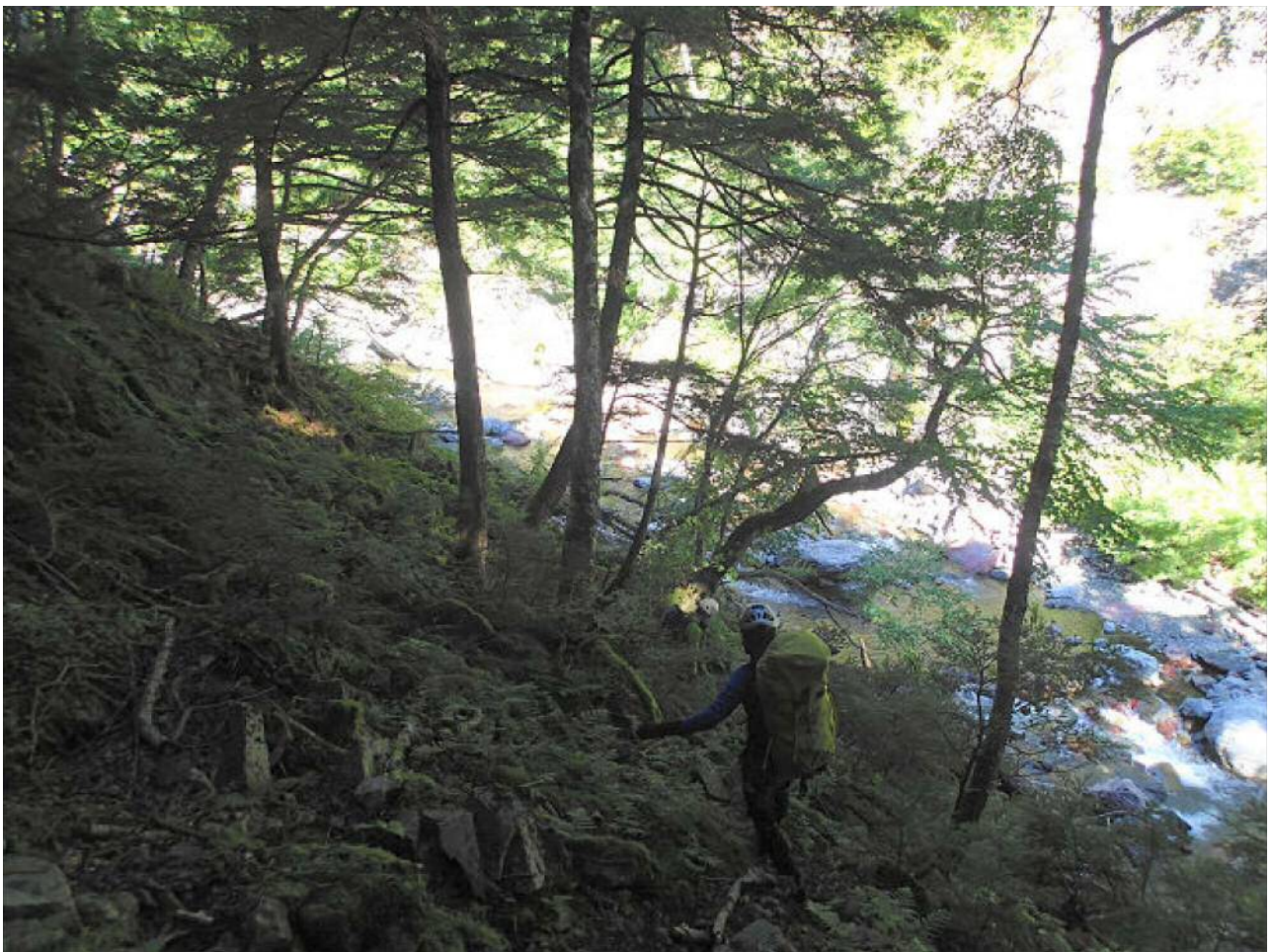


2日目の朝。タープ替わりのブルーシート



「大ゴルジュ」の入口。右岸から高巻いた



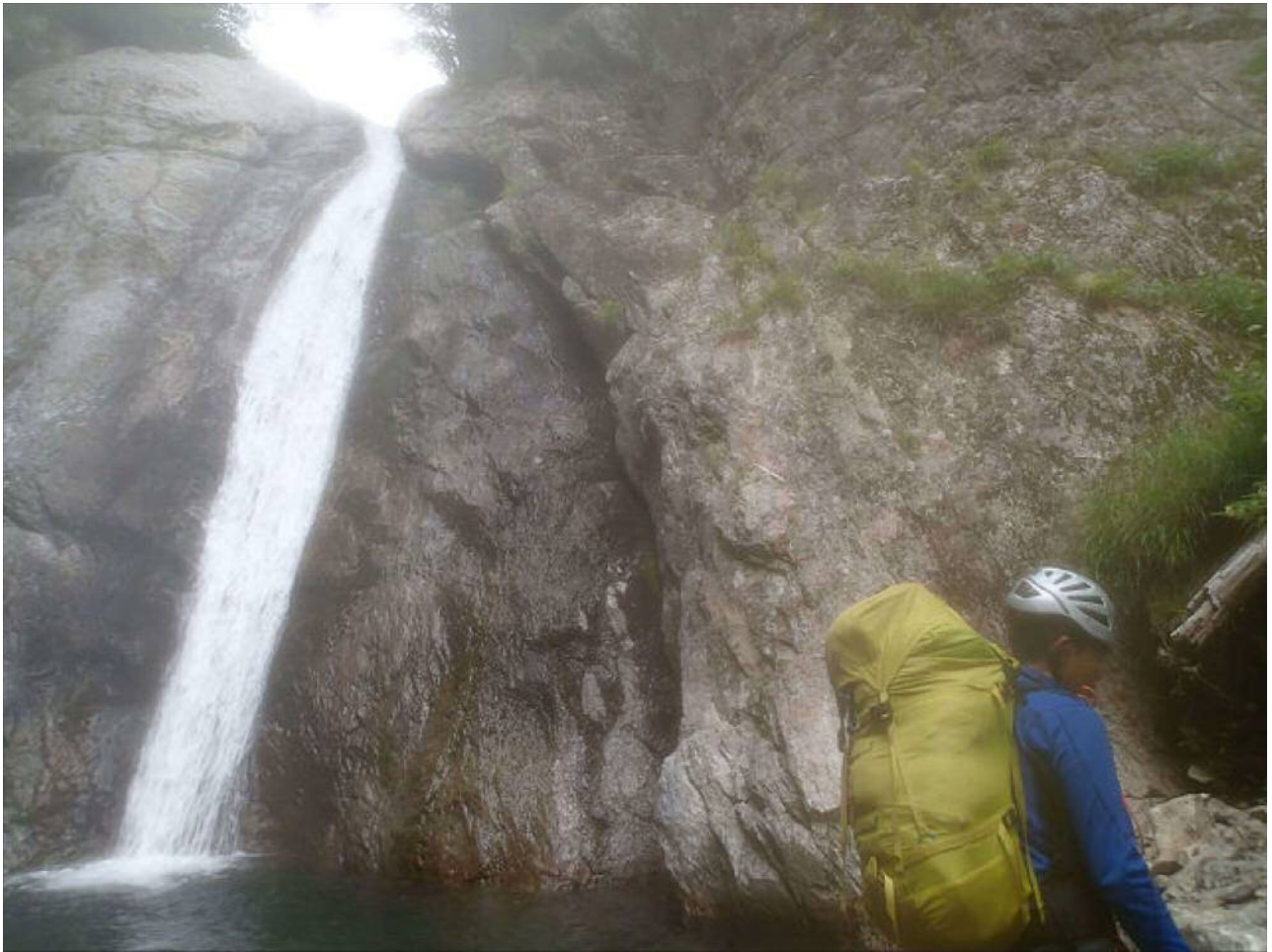


高巻き終了直前。沢に戻るまで約2時間要した



赤石岳の由来であるラジオリヤチャートが鮮やか





最後の関門。百間洞大滝



赤石沢のゴールである百間洞山の家が見えた！

8/18(木) 晴れ時々曇り

3時半に起床して5時に小屋を出発。

榎島から畑薙ダムに向かう最終バスは14時なので、それに間に合わないといけない。

百間洞山の家からしばらくは登りが続く。百間平で小休止。やがて赤石岳の背後から太陽が出てきた。今日も良い天気朝日がまぶしい。

赤石岳の山頂が近づくとガレ場になってくる。山頂に着く頃にはガスが出てきて残念ながら展望は得られなかった。

時間にあまり余裕が無いこともあり、早々に下山を開始した。

標高を下げていくとだんだん暑くなってくる。榎島に到着後、売店で買って食べたソフトクリームは濃厚で美味しかった。

予定通り14時のバスに乗ってダムの先の臨時駐車場に戻った。

帰りに白樺荘に立ち寄る。ゆったり温泉に浸かって達成感と開放感を味わった。

<タイム> 出発5:00 – 百間平6:00 – 赤石岳山頂8:05～8:15 – 赤石小屋10:08～10:29  
– 樺平11:50～12:05 – 榎島登山口13:10





やっと着いた赤石岳にて。ここまで長かった。

以上